

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

令和
公表:平成2年2月13日

事業所 支援センター はーとらいふ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		段ボール部屋へ活用	クールダウン時に段ボール部屋を活用することもなくなった。今後も子ども達の意見を聞いて、状況に合わせて工夫していきたい
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		駐車場から玄関までスロープ。室内もフローリングの段差無し。一部にスポンジ製のマット <small>歩行者専用。</small>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		手作りの壁面作りを季節ごとに変えて、展示している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		日々、業務の振り返りを行っている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		アンケート結果を把握し、職員で共有業務改善につなげています	今後も、保護者等の意向を把握し、業務改善に繋げていきたい
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		月1回の会報等で公表(ホームページ)	継続していく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		今後、検討中である
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		職員全員が同じ研修が受けられるよう、配慮されている	継続していく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		児童発達管理責任者を中心に、職員全員で会議を行い、計画書作成に活かしている	継続していく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		具体的な支援内容を別紙で作成している	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		職員1人1人が立案し、話し合いを行い進めている	地域との関わりが持てるよう活動プログラムに取り入れていきたい
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		児童の意見を取り入れ、活動に取り入れている	今後もプログラムの固定化していかないよう検討していく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4		子供の状況に応じて作成している	個別活動と集団活動が、もっとわかりやすいように計画書を作成する。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		職員朝礼時に、保護者からの連絡事項、相談等の報告情報共有。役割分担の確認	継続していく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		支援記録を用い、情報を共有している	継続していく
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		職員からの情報を収集し、当時の活動内容や、児童の様子、支援方法を職員と共有し記録する	継続していく
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		児童発達管理責任者、職員間で話し合いを行い、児童の発達状況に応じ見直しを判断する。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		児童発達責任者を中心に行っている	継続していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		対象児童のみ支援を行っている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		4	該当児なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		4	該当児なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		個別の教育支援計画書、指導計画書にて、支援内容の情報共有や、送迎時に連絡を行い、連携を図っている	継続していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		保育所、児童デイサービスを併用して利用している児童に限る。	継続していく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		他事業所との合同研修を定期的に行っている。	継続していく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4		保育所と児童デイサービスを併用することで障害のない子どもの活動する機会をつくっている	継続していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		4		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		連絡帳や送迎時に保護者へ報告。必要時、電話連絡・個別面談を行っている	継続していく
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4		保護者からの個別相談時に支援を行っている	継続している
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		利用契約時に、保護者が理解しやすいように説明を行っている	継続していく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		相談時は、保護者との時間調整を行い面談を行っている	継続していく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		父母の会活動支援は、出来る範囲内で行っている。年1回の保護者会開催している。	保護者からの希望があれば、保護者会の回数を増やしていくよう、検討していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		苦情ボックスを設置している。相談や要望があった場合、その都度対応している	継続していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		月間は一とらいふ便りを毎月発し、情報公開している(活動内容・行事等)	継続していく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		職員へは、起用契約時に説明。契約書を交わす	他機関との情報共有の為、保護者からの同意書を頂いているが、十分注意していく
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		連絡帳や送迎時を通じて、伝達している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		ボランティアの受け入れを行っている。地域の方の協力を得て、みかん狩りを行った。	地域の方々と触れ合える活動を重ねて行き、より良い関係作りをすることで、地域の方々を招待できるようにしていきたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		4	職員にマニュアルを周知している	次年度は消防隊員に協力を得て実施する計画である
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		7月、11月と2回訓練実施。7月は消防隊員(保護者)の協力を得て、訓練を行った	継続していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		契約時に、保護者に確認している	現在、該当児なし
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		4	該当児なし	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		事業所内のヒヤリハットの報告書を作成し、職員で共有会議している	継続していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		年1回の研修に、支援員を交代で受講させている	継続していく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		4	該当児なし	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。